



スリランカへの医療支援を発表するAMDAの菅波茂代表（左から2人目）と派遣者ら＝岡山市栢津で

医療支援で和平を

スリランカ派遣 AMDAが会見

医療NGO「AMDA」が、医療支援のためにスリランカにスタッフを派遣することになった。

AMDAの支援国はこれまで延べ50カ国を超え、現在もアフガニスタンやコソボ、ルアンダなど18カ国で活動中だが、スリランカは初めて。同国では、長年対立してきた政府と反政府組織「タミル・イーラム解放のトラ」（LTTE）

北部から巡回医療を開始する。難民キャンプで死亡率が高い呼吸器系、消化器系の疾患治療や、ワクチン接種できないことで発病するはしかやポリオなどの診療が主になる。

が昨年2月に停戦合意し、武装解除へ向けた交渉が続いており、「医療と平和」への貢献が期待されている。

4日に現地へ出発する菅波茂代表ら3人と5月から参加する看護師の計4人が3日、会見した。計画では、一行はまず、AMDAのスリランカ支部のある最大都市コロンボに入る。2〜4月でLTTEが支配する北部を含め、東部、南部に診療拠点をそれぞれ設置し、医師、看護師ら10人程度のチームを組んで、

4日に現地に向かう浜田祐子さん(30)は「医師、看護師が十分に活動できる環境をつくりたい」。元陸上自衛隊員の石沢睦夫さん(66)は「医療関係の緊急救援の体験を生かしたい」と話した。

が昨年2月に停戦合意し、武装解除へ向けた交渉が続いており、「医療と平和」への貢献が期待されている。

4日に現地に向かう浜田祐子さん(30)は「医師、看護師が十分に活動できる環境をつくりたい」。元陸上自衛隊員の石沢睦夫さん(66)は「医療関係の緊急救援の体験を生かしたい」と話した。

4日に現地に向かう浜田祐子さん(30)は「医師、看護師が十分に活動できる環境をつくりたい」。元陸上自衛隊員の石沢睦夫さん(66)は「医療関係の緊急救援の体験を生かしたい」と話した。